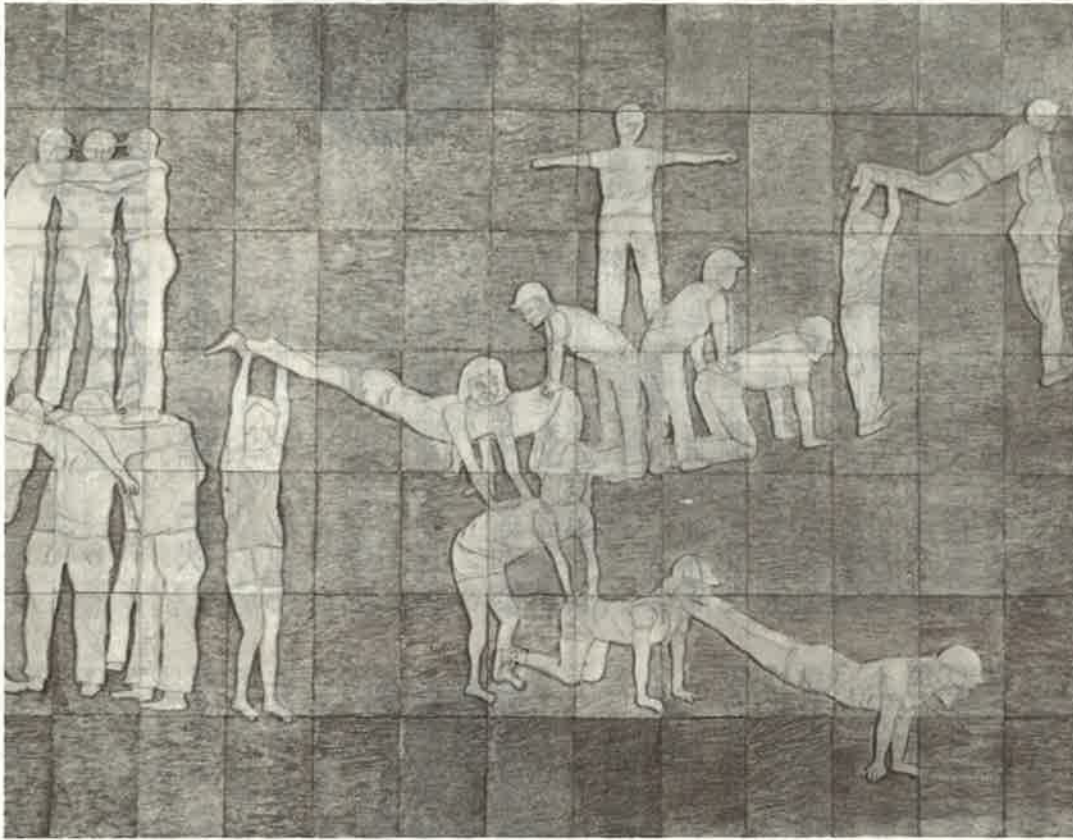


新学期のスタート



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部

印刷
阿竹印刷工業株式会社

第 15 号

昭和58年度卒業記念作品について

テーマ「ブリッジ」

人数 99名

下絵作成 2月

レリーフ (木彫り) 3月

私たちのPTAの果たすべき役割を、父田と教師、地域が一体となり、子供の健全な育成を考へて、子供を見つめ、共に親としても自己啓発に努め、次代を担う青少年を育てる重要な時期と考へます。又、社会情勢の変化に対応した教育問題等も的確にとらえ、教育改革、PTAの法人化と流れも変わつていこうとしています。物質的に恵まれて、核家族化し連帯感の薄れた、構造変化の中で

開校三年目を迎えた、北小学校PTA活動となりますが、会長という大役を仰せつかりました。会員皆様の御協力とご支援をお願い申し上げます。PTAの原点を振りかえりますと、活動をしていくにも、より多くの会員の方々が参画して初めて本来の目的が達成され生きてくると思っています。総会も体育館いつもの出席率で本年度スタートを致しました。



より良いPTA活動をめざして

会長 伊藤 一之

活動をする為に、役員の方々を始め、全会員のコミュニケーションを推進し、問題意識をもつて頂き、より良い活動を進めていきます。学級委員会、田委員会を中心に、

学級PTAを基本にPTとTが平等の立場で、懇談会、家庭教育のあり方と教養を高め、各部会で具体的な活動を活動方針に向けて中味の充実と本音で話し合い、楽しいPTA活動になることを考えています。

昭和59年度活動方針として
一、豊かな人間性と創造をめざす子供たちの健全育成を
二、会員相互の連帯感とPTA活動の充実を
三、学習環境の整備充実を
四、子供たちの安全をはかる
五、会員の研修をはかる

以上について、文化的、学習環境、しつけ等の発表の場を設け、現在の子育てのおすかしさを、乗り越えて、子供と共に成長し、広報紙「けやき」を通じて会員の共通理解や連帯感も深めて教育団体として成長をしていきます。最後に皆様の熱意ある御協力をお願い致します。

「あたり前」のことが 子どもにも伝わる



学校長 安達 正秋

一昨年の四月開校してから、一年たちました。その間、学校の環境整備につきましても、資金の確保、努力奉仕等大変な無理をお願いし、おかげをもちまして開校後一年とは思えないすばらしい環境の学校となりました。心からお礼を申し上げたいと思います。子ども達も、その中で毎日元気一ぱいの学校生活を送っております。去る五月四日には、子ども達の行事として、鯉のぼり集会をもちました。六年生におんぶされてゲームに参加した一年生の喜々としたその顔を見て、いつまでも幸せに、元気にすくすく成長してほしいと願わずにはいられない気持ちでした。

さて、学校では、昨年の教育成果について「羽津北小の子どもに何が欠けているか。」「どんな方法で指導すればよいか。」など反省して、学校の教育目標と共に本年度の努力点を決めました。

創立三年目の抱負 「心を育てる」と「ほめる」

教頭 田村 節生



新緑の快い風に鯉のぼりが泳いでいます。朝登校する子供たちが、私の姿をみると「先生おはようございます」と元気な声をかけてくれます。あとにさわやかなものが残ります。

創立三年目を迎えて、この子供たちを育てるために、次の二つのことを考え、実行させたいと思います。一つは、ものごとに対する感謝の心を育てることです。今の時代は物質的に大変豊かな時代となりました。戦争中のみじめな経験からみれば、今は天国のように思われます。しかし人間の欲というものは際限がありません。もっと、おいしいものはないか、もっと楽しい生活はないか……。物に対する欲望のみが増大して、耐え忍ぶことが失われた社会風潮と、それに影響された子供が増え

◇ 互いに励まし合い、助け合うこと。

◇ 物を大切にし、自然を愛すること。

◇ 心身を鍛え、命を大切にすること。

この目標は、昨年度とほとんど変わっておりませんが、この目標にもついで、各学年に即応した具体的目標をたてています。

これらの目標に関して、以前から感じていることは、羽津北小の子らは明るくて挨拶がよく出来る反面、まだまだ基本的な生活習慣態度の身についていない子が目立つことです。例えば、人の話を聞く態度が身についていないよう、集会等いつまでも私語が多く、話を聞くことができない子、給食中行儀の悪い子、また、紙くずが落ちていても拾うことを知らない子等が気になります。小学生を対象にしたある調査結果によると、学校の廊下や庭のごみをひろいます。では、アメリカでは30%、イギリスでは26%に対し、日本では5%のこと、米英以外の国々に比べても大差をもって最低だということになります。最近のこともは、あたり前のことができなくなっているように、子どもは親の鏡、教師の鏡、地域社会の鏡であるともいえます。教職にある者の一人として、誠に心の痛いことです。

掲げました教育目標、これと特別にむずかしい高度なものを身につけているわけはありません。子どもとして、物で生きて心で「ほめる」という世の中になつてきました。こうした欲望をおさえ、正常なものを身につけるようにしないと、大変なことになると思います。今日生きていること、恵まれた生活であること、多くの人々のおかげで喜んでいることなどについて、ありがたいと思う心が大切です。そして、これらの感謝の心を身近にいる人に、素直に表わすことが必要です。ありがとございます。おかげさまで。「よろしくお願います。」「こういう言葉をほつきり教え、しっかりと伝える子供に育てたいものです。

もう一つは、他人をいたわる心を育てることです。世の中で一番美しいことは、人をいたわることとほであるといわれています。私たちのまわりには、いろいろな苦しみや、悩みをもち恵まれない条件のもとで、頑張っている人も多いのです。困っている人、悩んでいる人に、素直に声をかけたり、やさしくほほえんであげたりすることが、どんなに他人の心を明るくするものです。私は、こうした心が

どもとして、人間としてあたり前のことができる、あたり前の子どもを作りたいたいという願いそのものです。特に小学校は人間の基礎をつくる大事な時です。人間の一生を通じて、この時期に土台をつくらないと、人間として伸びないということになります。

当地区におきましては、関係の方々のおかげで、望ましい地域社会教育の素地が作り上げられております。学校、家庭、地域、この三者の教育力のバランス、その力の結果が必要なのは申し上げるまでもないことですが、何よりも子どもの教育の根幹、基盤になるのは、家庭ではないかと思えます。人間というものは不思議な存在で、1+1がいつも2になるものではないようです。これは夫婦というものも考えてもわかることですが、1+1が0になることがある反面、3にも4にも5にもなる場合があるのではないのでしょうか。私達教師がいくら頑張っても、親のかわりをするとはとうてい不可能です。そんな事を考える教師がいたら不遜なものではないかと思えます。

親には誰もが真似のできない強いものがあるはずですが、自信をもって子どもに生活のきびきび生き方を教えてやっていたら、いと念願いたします。私ども皆さんと深い連けを保って、羽津北小児童のより望ましい成長を期待して精進したいと思えます。今後多面にわたって「理解、協力」をお願いいたします。

みちあふれる学校を願っています。こうした心を育てるため大切なことは、「ほめる」や動作で表わすことです。他人をいたわる心も、口に出し、体で表現しなければ相手に通じません。朝起きたら「おはようございます。」「いつてまいます。」「挨拶して出かけること。」「お元気に家に帰ること。」「お家で実行させてください。」「学校でもおはようございます。」「ありがとございます。」「挨拶を育てたいと思えます。」「オアシス」運動の輪を大きく広げたいものです。

新任 プロフィール



松岡 節子
音楽科という教科の性質上と思えますが、子供たちのリズムカル

でスピーディーな行動に、私までが若々しく楽しい気分になせられあつという間に一ヶ月が過ぎてしまいました。そして着任早々、全校児童の約半分の子供たちに接することができるとはほんとうにうれしく思っております。

ただ今は、見るもの聞くものが新しく美しく感じる時ですが、羽



- (五一一) 小倉 弘子
- (給食) 市川ツユ子
- (一一一) 野呂 和
- (給食) 稲田千香子
- (四一一) 小林 久美
- (用務) 生川 和子
- (二一一) 西村 茂
- (給食) 森 洋子
- (専科) 内山 治男
- (一一一) 加藤ふみ子
- (六一一) 堀越 博幸
- (二一一) 桜井美佐子
- (教頭) 田村 節生
- (事務) 達知 和子
- (校長) 安達 正秋
- (専科) 松岡 節子
- (六一一) 筒井 和子
- (五一一) 水谷 裕康
- (六一一) 矢田 貞好
- (養護) 黒崎 豊美
- (三一一) 末澤 元宏
- (五一一) 老谷 洋子
- (三一一) 服部貞左子
- (三一一) 鈴木 栄子
- (四一一) 平田由美子
- (二一一) 本間 和子
- (四一一) 楠木 信久

津北小の、展のために礎を創る大切な時だ、と思えます。子供たちのために本校での研修ががんばりたいと思えます。



老谷 洋子
この度、春の移動で羽津小学校から転勤してまいりました老谷洋子です。

この羽津北小学校には、以前教えた子供達も多く、廊下でその成長した姿を見るのも楽しい毎日です。又、元氣一杯の五年生の担任で、子供に負けないよう、張り切った生活を過ごさせて頂いております。もっともつと子供達に駆け込んで、一人一人を大切にしたい教育を、目ざして努力して行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



市川ツユ子
私海蔵小より転勤してまいりました。朝の出動途中、帰りの途中、

一生懸命、育ちざかりの子供さん達に残さず、好き嫌いせず喜んで食べていただきますよう、作ってゆきたいと思っております。米飯の日は、御箸を忘れないようにもたせてください。給食の仕事に誠心誠意尽くす所存でございます。どうぞよろしく。



楠木 信久
生年月日 昭和31年4月16日
担当学年 4年3組

趣味 ポーリング、プロレスなど先生になつた動機 「ぼくは君達に嫌われてもいい。ぼくが死んでから、あの先生は本当はええ先生やつたなあ」といつか気付いてくれたらええんや」とおっしゃった高校時代の恩師の言葉に、深い感銘を受けたことが教師になろうと



森 洋子
心のこもった給食を作りたいと思えます。羨というものは、毎日毎日、日々の事の繰り返し自然に身についていくものだと思います。皆様も残さず、しっかりと食べて心身共に健康な人になつて下さい。

第三回 PTA総会開催される

第三回PTA総会は去る四月二十四日午後二時三十分より羽津北小屋内運動場にて多数出席のもとに開催され、以下の事項について夫々報告並びに審議が行われました。



議事録

- 一、昭和五十八年度事業報告
- 一、昭和五十八年決算報告
- 一、昭和五十八年度会計監査報告
- 一、PTA保険団体会計報告
- 一、〃 〃 監査報告
- 一、昭和五十九年度役員委員報告
- 一、〃 〃 活動方針案審議
- 一、〃 〃 事業計画案審議
- 一、〃 〃 予算案審議
- 一、公則改正案審議

新役員紹介

新役員に選任された方々は、次のとおりです。

- | | |
|--------|-------|
| 会長 | 伊藤 一之 |
| 副会長 | 荒木 正一 |
| 書記 | 清水貴志代 |
| 〃 | 土肥 耕三 |
| 〃 | 高倉 芳子 |
| 会計 | 中川 宏 |
| 〃 | 小林 恵子 |
| 〃 | 森 昇 |
| 安全部長 | 野呂 照哉 |
| 環境整備部長 | 鈴木 清教 |
| 保健体育部長 | 菊池 栄子 |
| 学年部長 | |



交通少年団

入団式

去る五月十日午後一時より羽津北小学校校庭に於て、羽津地区交通安全協会会長、四日市北警察署交通課長他御臨席のもと実施されました。

会長の挨拶に始まり、団員(各通学班の班長・副班長)名簿の発表、団旗の授与、そして交通事故をなくすための「ちかいのこ」を団員全員で斉唱し、自分達が自主的に交通ルールを守って集団登校が出来ようよう努力することを誓いました。最後に交通指導員による基本動作の練習・安全な登校のための練習も行われました。



人事移動

- | | |
|------|-----------|
| 転出 | 八郷小学校へ |
| 平田佐康 | |
| 山田智子 | 桑名市大成小学校へ |
| 転入 | |
| 楠木信久 | 新任 |
| 松岡節子 | 下野小学校より |
| 老谷洋子 | 羽津小学校より |
| 退職 | |
| 杉谷孝子 | 岡田ふみ子 |

編集後記

部長以下、新部員協力のもと、今年度初めての「けやき」を発行することができました。今年一年間少しでも身近な広報紙としてお届けできるよう全部員がんばります。どうぞよろしくお願ひします。

- | | |
|-------|-------|
| 教養部長 | 水谷田起子 |
| 会計監査 | 森 幸治 |
| 〃 | 久志本留美 |
| 参与 | 伊藤 淳一 |
| 学校側より | |
| 顧問 | 安達 正秋 |
| 〃 | 田村 節生 |
| 書記 | 内山 治男 |
| 会計 | 達知 和子 |

訂正 第14号(卒業特集号)の編集後記中、編集委員名に誤りがありましたので、次の通り訂正します。

館 富美子	↓	館 輝男
森 輝夫	↓	森 富夫